

広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業 活動報告(最終)

1. 参加学生

現代文化学部マスコミュニケーション学科 4年 観光振興ゼミ 3名

2. 研究概要**【目的と背景】**

広島市佐伯区湯来町における「ワーケーション・ブレジャー」の可能性をコンテンツとした YouTube チャンネルを地元関係者と連携して制作することで、湯来町を新たな観光・交流拠点として PR することを目的とする。

「ワーケーション・ブレジャー」は、新型コロナウイルス感染症拡大により甚大な影響を受けた観光業界において、ポストコロナ期で注目される新たな生活様式の観光スタイルの 1 つとして挙げられている。また単なる旅行の一形態に留まらず、地域の関係人口・移住人口を増加させる効果も期待されている。広島市佐伯区湯来町は、広島市街地への利便性の高さや豊かな自然環境・歴史文化資源を有するなど「ワーケーション・ブレジャー」に適した条件下にありながら、人口減少・少子高齢化等により空き家・荒廃農地等が増加するなどの地域課題を抱えているため対象地として採り上げた。

【方法】

研究方法としては次の5段階に分けて実施した。①観光情報関連の YouTube を 9 本視聴し、効果的な YouTube の要件を整理。②ワーケーション・ブレジャーを地域に導入するための要件整理として、『観光庁「新たな旅のスタイル」ワーケーション&ブレジャー2021 年』に挙げられた、受入地域や施設に対する要望を参考とした。③湯来町への事前現地調査・ヒアリング④YouTube 制作⑤成果作品に対する評価収集。

【結果と考察】

ワーケーション・ブレジャー導入のための要件として、「ワーケーション・ブレジャー」を地域に導入するためには様々なハード面・ソフト面での環境整備や魅力ある観光資源・地域資源が挙げられる。例えば、通信環境(Wi-Fi)、セキュリティ対策などの「仕事関連」、個室などのプライベート空間、保育施設などの「プライベート関連」、アクティビティや体験コンテンツなどの観光資源・地域資源等である。この要件整理を元に現地ヒアリングを実施し撮影スポットのリストアップを行った。制作する YouTube の構成については、ターゲットはワーケーション・ブレジャーの中心的世代と考えられる、30~40 代の都市部在住の小学生以上の子供を持つビジネスマンに設定した。1 編 15 分程度の 3 編構成とし、①1 編目は仕事・暮らし編。仕事関連、プライベート関連に分類し、仕事関連は父親が仕事を行う場所として湯来交流体験センターの会議室、キャンピングオフィスを撮影、またプライベート関連は、長期滞在施設など仕事を終えた父親がリラックスできる施設として、奥湯来田舎体験ハウス古民家「さがみ」、古民家「しまた」、シェアハウスを撮影した。②2 編目は休暇・遊び編。アクティビティや体験コンテンツ、食材や食事の提供、「癒し」コンテンツ、観光ルートの提示に分類した。父親が子供と一緒に楽しむアクティビティや体験コンテンツとして、シャワークライミング、e-bike、オオサンショウウオこんにやく作り、釣り堀、くもで交流広場などを撮影した。長期滞在するうえで必要な食材や食事の提供としては、湯治 Bar sozoro、久保アグリファーム、湯来特産品市場館を撮影した。仕事に疲れた父親と子育てで疲れた母親が息抜きとして利用してほしい・観賞してほしい「癒し」コンテンツとして、リバーサウナ、タイ古式ヨガ、紅葉、蛍、なども撮影した。③3 編目は関係者(地域・行政・企業)達による、湯来町でのワーケーション・ブレジャーの可能性について対談を実施し撮影した。

制作にあたっては、分かりやすさに留意することはもちろん、視聴者が制作者と一緒に旅をしている気分になれるかどうか、リンクやIDを貼るなどの工夫、地元の人々の活躍が伝わることなどを念頭に置いた。YouTubeによる観光情報発信の効果は、今や観光客による動画視聴動向は顕著で主たる情報源となっていることから明らかであり、不特定多数の視聴者に湯来町の効果的PRが可能となった。同時に湯来町では、「ワーケーション・ブレイジャー」を視点としたYouTubeチャンネルは未だ存在しないため、町の新たな観光戦略へのきっかけにもなり得たと考えている。また制作過程においては、産官学民からの多様な人材の参画が実現されたため、「ワーケーション・ブレイジャー」に対する地域での課題意識の共有も可能となった。

3. 活動報告

1. 8月・9月（採択決定以降）

- ①「ワーケーション・ブレイジャー」を巡る社会的動向についての文献調査
- ②湯来町における地域課題の確認と「ワーケーション・ブレイジャー」の現状と課題確認
→打ち合わせ前に数回現地訪問し、企画案作成
佐伯区、NPO 法人湯来観光地域づくり公社、湯来町観光協会へのヒアリング調査等
- ③【9月25日(土)9:00～】
NPO 法人湯来観光地域づくり公社(代表:佐藤亮太様)との打ち合わせ
→主旨・動画構成・撮影スポット・協力者候補などについて検討



2. 10月・11月

3 編構成案に沿って撮影

①【10月21日(木)】

- ・湯来交流体験センターの建物、会議室全体
(通信環境 Wi-Fi、セキュリティ、複合機プリンター、大型モニター、会議できる部屋、机、椅子、照明など)
- ・湯治 Bar.sozero(店舗全体、テラス席、店内など、メニュー表や看板、ランチ&カフェタイム商品)
- ・シェアハウス(建物全体、玄関、台所、トイレ、テレビ、お風呂、居間など)
- ・企業参加のキャンピングオフィス体験会



会議室



sozero



シェアハウス



体験会(キャンピングオフィス)



撮影する学生

②【11月14日(日)】

- ・湯来特産品市場館(日常生活の食材や湯来の特産品などの商品紹介)
- ・リバーサウナ(OFFの日に父がテントサウナを楽しむ姿)
- ・オオサンショウウオこんにやく作り(子供の体験映像、完成時の達成感を表現)
- ・久保アグリファーム(自然・遊具で遊んでいる子供、牛とヤギ、NYU SAGOTANI、FALOなどの店舗と商品)
- ・奥湯来田舎体験ハウス古民家「さがみ」(キッチン、お風呂、エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機など)
- ・奥湯来田舎体験ハウス 古民家「しまた」(五右衛門風呂、BBQスペース、薪ストーブなど)
- ・くもで交流広場(遊具、釣り堀、常設テント、芝生広場など)



市場館



リバーサウナ



こんにやくづくり体験



久保アグリファーム



古民家



くもで交流広場

③【11月26日(金)】

- ・タイ古式ヨガ(湯来交流体験センター)
- ・グリークキッチン&ベーカリーBakuro(麦浪)



ヨガ体験

3. 12月～3月

①【12月22日(水)】

- ・奥湯来田舎体験ハウス ・湯治 Bar.sozoro (店長インタビュー) ・テントサウナ(関係者インタビュー)
- ・湯来温泉湯元貸し切り露天風呂誠の桧湯 等の撮影と収録

②【2022年1月19日(水)】

- ・第3編～インタビュー・対談編～の収録(湯来交流体験センターにて)
- (登壇者4名:地元関係者、行政、企業2名)



③【2月28日(月)13:00～14:30】

- ・報告会開催(ZOOMによるオンライン形式)

参加者 35～38名

(本学観光振興ゼミ4・3・2年 計16名、その他湯来町関係者・県内他自治体関係者・企業など約20名)

- ・視聴終了後に評価アンケート実施

結果は別途資料に掲載

④【3月14日】YouTubeに公開



観光振興ゼミアカウント



第1編(仕事・暮らし編)

https://youtu.be/8A_J4RrPv3Q



第2編(休暇・遊び編)

https://youtu.be/9cOEclq_K1M



第3編(対談・インタビュー編)

<https://youtu.be/60jtWgY5DWI>